芝浦工業大学大学院　理工学研究科修士課程
一般（二次）入学者選抜募集要項
2027 年春期入学者用

【目次】

入試フローチャート

0. はじめに
(1) 事前相談
(2) 個人情報の取扱い
(3) 安全保障貿易管理（輸出管理）
(4) 受験上及び修学上の合理的配慮

1. 出願について
(1) 研究科、専攻、学位の名称と入学定員
(2) 出願資格
(3) 出願手順
(4) 選考日程
(5) 選考方法
(6) 出願にあたっての注意事項
(7) 出願書類
(8) 入学検定料

2. 試験について
(1) 受験番号
(2) 試験内容
(3) 合格発表

3. 入学手続について
(1) 入学手続金の納入
(2) 入学手続情報の入力
(3) 今後の入学手続予定

4. 学費等

5. 入学辞退

6. 奨学金

7. 教育研究分野及び教員一覧

8. 出願資格の認定（該当者のみ）
(1) 出願資格審査が必要な場合
(2) 出願資格審査の申請方法
(3) 出願資格審査日
(4) 審査料
(5) 審査方法

9. 在留資格「留学」の取得（外国籍者のみ）

10. 問い合わせ先

※　当募集要項は、国際理工学専攻を除いた 7 専攻の募集要項です。
国際理工学専攻の受験希望者は、英語版の募集要項掲載ページより該当ファイルをダウンロードしてください。

※　当募集要項に掲載されている入試は、「日本語で受験される方」向けのものになります。英語での書類作成や口述試験を希望される方は、「Special Selection for Foreign Students（SSFS）」を受験してください。

入試フローチャート

◆ 全員　　◇ 該当者のみ

(※1)本学在学生／在学生以外に関わらず
在留資格「留学」を有する者または入学に際して同資格を取得する予定の者はこの列のフローチャートを参照

時系列メインフロー	日程・締切	本学在学生	本学在学生以外	留学生(※1)	手続きのポイント・補足
1 事前相談 教員からの許可を得る	締切 2026/10/30(金) 16:00	※2 ◆	※3 ◆	※2・3 ◆	• （※2）本学在学生：教員へ直接相談し許可を得る（TAOでの事前相談不要） • （※3）本学在学生以外：TAOでの事前相談を必須で実施する • 本学在学生以外：締切超過後も事前相談完了届が「提出済」ステータスになれば事前相談完了扱い
2 出願資格審査	申請期限：2026/11/18(水) 16:00 出願資格審査日：2026/12/18(水) 審査結果の発表：2027/1/14(木)		※4 ◇		• 他大出身のうち出願資格⑨・⑩（募集要項2-(2)出願資格参照）の方のみ申請（メール提出） • 在留資格「留学」保有・取得予定者は資格審査の対象外 • （※4）出願資格審査申請者は審査・審査結果を待たずに出願手続に進む
3 出願手続・検定料納入	出願期間 11/16(月)〜11/27(金)	◆	◆	◆	• 事前相談完了者のみ出願可能 • TAOにて「出願完了」まで必ず実施（教員側の操作フローもあるため余裕を持って対応） • 検定料：35,000円（出願最終日12:00締切）
4 受験番号・試験詳細確認	選考の1週間前を目途に通知	◇	◇	◇	• 出願不備が無い方を対象にTAOから通知される情報を確認 • 出願資格審査申請者は審査結果が合格の場合に通知対象となる • 試験日時の変更は不可
5 試験・合否結果確認	試験日 修士：2027/1/27(水) 博士：2027/1/23(土) 合否発表 2027/2/10(水)13:00	◆	◆	◆	• 選考後、TAOにて合否結果を確認する
6 入学手続金納入・ 入学許可証通知受領	着金締切 2027/2/26(金)	◆	◆	◆	• 合格者に向けた入学手続案内を確認する • 期日までに指定口座への着金要（手続後、入学許可証が送付される）
7 CoE・ビザ関連手続	手続案内 2月下旬〜3月中旬			◇	• 在留資格の更新（満了3ヶ月前〜）／変更／新規取得の手続を実施 • 大学院課にメール送信する
8 入学手続書類提出 入学式	入学手続（詳細は別途案内） 2027年3月下旬 入学式 2027年4月2日	◆	◆	◆	• 入学手続書類を全て提出し学生証を受け取る（詳細は別途案内）

※TAO = The Admissions Office（オンライン出願システム）。出願・発表・連絡は基本的にTAO経由で行われます。
状況に応じTAOに登録されたメールアドレス宛に個別のご連絡をすることがあります。

1. はじめに

(1) 事前相談

芝浦工業大学（以下、本学という）在学生以外の者は、出願前にオンライン出願システム（TAO）で事前相談手続を行い、教員との事前面談により入学後の研究室受け入れに関する内諾を得る必要があります。

《指導教員との事前相談について》

https://www.shibaura-it.ac.jp/examinee/graduate/matching2.html

《事前相談の際の必要書類》

① [必須] 経歴書（様式自由）
※経歴書には、高校卒業後から現在までのすべての期間について、“抜け”がないように記入してください。留学、日本語学校在学などの期間も含めて記載してください。

② [必須] これまでの研究概要（A4 サイズ 1 枚程度で様式自由）

③ [必須] 研究計画書（様式自由）
※研究計画書の内容と指導を希望する教員の研究分野が一致しているかどうかをご確認ください。

④ [必須] 卒業・修了(見込み)証明書（原語版及び日本語又は英語版）

⑤ [必須] 成績証明書（原語版及び日本語又は英語版）

⑥ [任意] 英語テストのスコアレポート(TOEIC® L&R、TOEIC® S&W、TOEFL® iBT、IELTS Academic、GTEC（大学生・社会人向け/4 技能）のいずれか)
※英語テストのスコアレポートや日本語能力試験の成績証明書又は日本留学試験「日本語」の成績確認書（留学生の場合）の提出は、事前相談では[任意]ですが、出願時には出願締切日の 2 年以内に受験したテストのスコアレポートの提出が必要です。詳しくは「2．(6) 出願書類」にて確認してください。

⑦ [任意]日本語能力試験の成績証明書又は日本留学試験「日本語」の成績確認書（留学生の場合）
※N1 不合格の成績証明書は提出できません。

⑧ [対象者のみ必須] 日本語教育機関等の出席率証明書
※在籍している／していた「日本語教育機関等」が発行する証明書を提出すること。合理的な理由が無い場合は出席率 8 割以上を目安とする。対象者の条件は募集要項 2-(7)出願書類　参照。

⑨ [対象者のみ任意] 在留資格認定証明書交付申請書（申請希望者のみ）、留学経費支弁計画書（所定様式）、預金残高証明書
※事前相談では[任意]ですが、出願時では対象者のみ[必須]提出です。対象者の条件は募集要項 2-(7)出願書類　参照。

⑩ [任意] その他

【注意事項】

※ 事前相談の締め切りは【10 月 30 日（金）16:00】です。

※ 第 1 希望の教員が受入不可の場合、第 2 希望の教員に事前相談を行えますが事前相談期間内に行う必要があります。そのため、第 1 希望の教員への事前相談は早めに行うことをお勧めします。事前相談は第 2 希望まで可能ですが同時に複数申し込むことはできません。事前相談期間が終了した場合、第 2 希望の教員への事前相談が行えませんので、あらかじめご注意ください。

※ 建築学専攻の一部の部門は、出願受付期間が終了する 15 日前までに教員との事前面談が必要です。詳しくは「3．(2) 試験内容」にて確認してください。

(2) 個人情報の取扱い

出願時に提供された「氏名、住所（連絡先）、その他の個人情報（以下、個人情報）」は、入学試験や合格発表、入学

手続、及びこれらに付随する事項の連絡を行うために利用します。また、入学手続時に提供された個人情報については、入学後の学修指導や緊急連絡の他、学生生活の支援に必要が生じた場合に利用します。本学では、提供を受けた個人情報を学校法人芝浦工業大学個人情報保護規程に従い、厳重な管理体制の下で管理・保管をします。

(3) 安全保障貿易管理（輸出管理）

本学では、「外国為替及び外国貿易法」及び関連法令の規定に基づき、技術の提供や研究者・学生の受入れに際し審査を実施しています。このことから、規制事項に該当するおそれのある場合は、希望する教育・研究内容の変更を求められることがあります。

安全保障貿易管理の詳細については、以下の経済産業省のウェブサイトを参照してください。

《経済産業省》 http://www.meti.go.jp/policy/anpo/index.html

(4) 受験上及び修学上の合理的配慮

身体に障害などがある志願者の相談（受験・修学上の配慮）を受け付けています。視覚障害や聴覚障害、肢体不自由、音声機能・言語機能障害、慢性疾患、発達障害などで受験及び修学上で特別な配慮を希望する者は、受験上及び修学上の合理的配慮に係る申請を行ってください。

《申請方法等》

申請対象：受験及び修学上で特別な配慮を希望する者

申請方法：出願の際にオンライン出願システム（TAO）から受験上及び修学上の合理的配慮申請項目に回答する

必要書類：医療機関で発行された診断書又は障害者手帳のスキャンデータ

2. 出願について

(1) 研究科、専攻、学位の名称と入学定員

研究科名称	専攻名称	学位名称	入学定員
理工学研究科	電気電子情報工学専攻	修士（工学）	200 名
	材料工学専攻		50 名
	応用化学専攻		40 名
	機械工学専攻		140 名
	社会基盤学専攻		40 名
	建築学専攻	修士（工学）又は修士（建築学）	170 名
	システム理工学専攻	修士（システム理工学）	150 名
	国際理工学専攻	修士（理工学）	10 名

※　入学定員は、各入学者選抜の募集定員ではなく 2027 年度の入学定員です。

※　国際理工学専攻の受験希望者は、英語版募集要項の「英語版の募集要項掲載ページ」にある Application Guideline をご覧ください。

(2) 出願資格

出願資格は以下のとおりです。いずれの出願資格を満たしているかが不明な場合は、事前に問い合わせください。出願資格⑨又は⑩により出願を希望する場合は、出願に先立ち、本学所定の「出願資格審査」を受ける必要があります。出願資格審査の結果、それぞれの出願資格を満たすと認められた場合に限り、出願することができます。詳細は「9. 出願資格（該当者のみ）」にて確認してください。

①　学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者又は 2027 年 3 月卒業見込みの者

② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者（大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者）及び 2027 年 3 月末までに学位取得見込の者
③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月末までに修了見込みの者
④ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月末までに修了見込の者
⑤ 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者又は 2027 年 3 月末までに修了見込みの者
⑥ 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が 3 年以上（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については 5 年）の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者または 2027 年 3 月末までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者（注 1）
⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で、文部科学大臣が別に指定するものを、文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は 2027 年 3 月末までに修了見込みの者
⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）及び 2027 年 3 月末までにそれに該当する見込みの者
⑨ 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、理工学研究科委員会において特に優れた成績で所定の単位を修得したと認めた者
⑩ その他、理工学研究科委員会において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた 22 歳以上の者

（注1） 学士の学位に相当する学位を授与されていない場合は出願資格⑥には該当しません。（例：中国の 3 年制大学（専科大学・職業学院）を卒業し、学士の学位に相当する学位が授与されていない場合）

【見込みの資格により出願する際の注意】

出願資格①から⑧において、「見込み」の資格により出願し、合格した場合であっても、出願資格に必要な要件を 2027 年 3 月末日までに満たさなかった場合は、入学が許可されません。

【二重在籍に関する注意】

学校教育法に定められた他の大学、短期大学、大学院、高等専門学校に在籍中の方は、同時に本学に在籍することはできません。本学入学日（4 月 1 日もしくは 10 月 1 日）より前に、現在在籍中の学校を卒業または退学する許可を得ていることが出願の条件になります。海外の短大・大学・大学院に在籍されている場合も同様です。（二重在籍不可）

(3) 出願手順

出願受付期間内に TAO（The Admissions Office）（以降、TAO という）から事前相談および出願を完了させてください。「The Admissions Office (TAO)」使用マニュアル

ステップ 1 ：事前相談

本学在学生以外	事前相談期間内に、TAO で事前相談の申請を行い出願の許可を得る。 指導教員との事前相談について
本学在学生	出願時期や研究内容について教員に直接相談し、事前に出願許可を得る。

ステップ 2 ：入試出願（※）

全員	出願受付期間内に TAO で申請を行う。 TAO で入学検定料の支払いを済ませ、出願を完了させる。（TAO の表示 出願完了 ）

※出願の完了には教員による確認及び受入内諾書の提出が必要です。締切直前に申請し、出願期間内に受入内諾書の提出が完了しなかった場合は、出願を完了できません。十分な余裕をもって申請してください。

(4) 選考日程

選考日程は以下のとおりです。いかなる場合でも締め切り日時を過ぎての受付は行いません。

項目	日時	備考
事前相談締切	2026 年 10 月 30 日（金）16:00 迄	
出願受付期間	2026 年 11 月 16 日（月）12:00 ～　11 月 27 日（金）16:00 迄	・TAO により出願受付
試験日	2027 年 1 月 27 日（水）	・オンラインにて実施 ・試験日時は 1 月 21 日（木）までに個別に通知
合否発表日	2027 年 2 月 10 日（水）13:00	・TAO の個人ページにて発表
入学手続金振込締切日	2027 年 2 月 26 日（金）	・この日までに本学指定口座に納入されていること

(5) 選考方法

- 選考は、出願書類審査及び口述試験により行います。
- 合否判定は書類審査及び口述試験結果の総合点により行います。
- 試験日時の希望には応じられません。
- 口述試験はオンラインで行うことから、受験者自らがパソコンや通信環境、カメラ、マイク、静穏な環境を準備してください。
- 各専攻における試験内容については、「３．(2) 試験内容」にて確認してください。

(6) 出願にあたっての注意事項

- 出願内容に不備が認められた場合、出願の受理はされません。
- 記述言語の指定がない提出書類については、「日本語」または「英語」で作成されたもののみ受理いたします（推薦状を含む）。他言語で作成された書類しかご提出いただけない場合は、公証を受けた翻訳文を原本とともに TAO からご提出ください。
- 一度提出された書類の訂正および差替には、いかなる場合も対応いたしかねます。
- 出願後の内容変更（入学年月、専攻分野、指導教員等）は一切できません。
- 出願時に提出された書類・資料および情報等に偽造、虚偽記載、剽窃等が判明した場合、不正行為として入学試験結果を無効とすることがあります。その際、既に提出された書類・資料や入学検定料は返還いたしません。
- 本学大学院が受け入れる外国人留学生については、適切な在籍管理及び修学環境の確保の観点から、日本における学費及び生活費を安定的かつ継続的に支弁できる能力を有していることを入学許可の要件とします。提出書類に基づき、修学の継続性が確保されるかを総合的に審査します。経費支弁能力が不十分と判断された場合は、入学を許可しません。また虚偽の申告が認められた場合は、入学許可を取り消すことがあります。

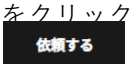
(7) 出願書類

出願書類は以下のとおりです。

所定様式の指示があるものは web の募集要項ページより修士課程 所定様式集をダウンロードして必要なファイルを使用してください。

TAO ﾒﾆｭｰ	提出書類	詳細	対象
入学願書	①入学願書	● 出願者情報、出願先情報等を入力する ● 入力欄が不足する場合は、PDF を作成して「提出書類」→「その他書類」にアップロードする。	全員
	②顔写真	● 顔写真データをアップロードする ■ 比率は縦 4×横 3 とすること。 ■ 申請日から 3 か月以内に撮影すること。 ■ カラー、上半身、正面、無帽、背景無地、枠なしとし、鮮明に映っていること。 ■ 顔の画像加工を行わないこと（アプリでの加工等も禁止)。 ■ ファイル容量は 20～500KB とすること。 ■ 面接時の本人確認および入学後学生証用写真として使用。後日差し替えはできないため注意すること。 ■ 顔写真の不備も出願不備の対象となるため注意すること。	全員
提出書類	③成績証明書 (GPA 記載)	● 学士学位を取得した(見込み含む)課程の証明書を提出すること。 ● 編入学者は、編入学前の証明書も提出すること。 ● GPA が記載された成績証明書を提出すること。 GPA が記載されていない場合は、以下(1)(2)のファイルを結合した上でアップロードすること。 (1) 出身大学所定の成績証明書 (2) GPA を証明する書類または GPA が記載された大学サイトのスクリーンショット（大学名・氏名等を記載のもの） ● 成績証明書と卒業(見込み)証明書が複合している書類の提出も可。この場合、③と④は同一データをアップロードすること。 ● 本学卒業生は、証明書自動発行機（パピルスメイト）又は証明書学外発行サービス（コンビニ発行）で取得したものを提出すること。	本学の正規在学生以外 (学外者、本学研究生/科目等履修生/特別聴講生)
		● 成績証明書に加え、芝浦工業大学の計算式で換算した調整 GPA を算出した PDF を提出すること。 ※小数点以下 2 桁で算出する。 ※所定様式の計算シートを使用 【計算式】 調整 GPA＝{4 x (優:A＝80 点以上)の取得単位数) + 3 x (良:B＝70 点以上 80 点未満)の取得単位数)+ 2 x (可:C＝60 点以上 70 点未満)の取得単位数)}/ 取得総単位数	建築学専攻 志願者
	④卒業(見込)証明書	● 学士学位を取得した課程の証明書を提出すること。 ● 成績証明書と卒業(見込み)証明書が複合している物の提出も可。この場合、③と④は同一データをアップロードすること。 ● 「独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構」による学士学位を授与された者は、学位授与証明書を提出すること。学位授与申請中の場合は、申請受理証明書を提出すること。	本学の正規在学生以外 (学外者、本学研究生/科目等履修生/特別聴講生)

TAO ﾒﾆｭｰ	提出書類	詳細	対象
		● 海外の大学など、卒業証明書と学位取得証明書が分かれている場合は、いずれも提出すること。 ● 学士学位の他にいずれかの大学で修士学位をすでに取得している場合は、TAO の「提出書類」の「その他書類」欄にアップロードすること。 ● 本学既卒者は、証明書自動発行機（パピルスメイト）又は証明書学外発行サービス（コンビニ発行）で取得したものを提出すること。	
	⑤志望理由書	● 修士課程 所定様式を使用すること。 ● A4 サイズ 1 枚以内。日本語で作成すること。	全員
	⑥研究計画書	● 修士課程 所定様式を使用すること。 ● A4 サイズ 2 枚以内（図表含む）。日本語で作成すること。	応用化学専攻の志願者以外
		● 修士課程 所定様式を使用すること。 ● A4 サイズ 2 枚以内（図表含む）。日本語で作成すること。 ● 研究計画書に代えて卒論研究計画書（研究の背景、目的、意義、今後の研究計画について図表を含め A4 サイズ 2 枚にまとめたもの）と志望動機および研究倫理に関する内容（A4 サイズ 1 枚にまとめたもの）を作成し、PDF にしてアップロードすること。所定様式あり。	応用化学専攻の志願者
	⑦英語テストスコアレポート	● TOEIC® L&R、TOEIC® S&W、TOEFL® iBT、IELTS Academic、GTEC（社会人・大学生向け/4 技能)のいずれかのスコアを提出すること。会場受験のみ可。 ● 公式に発行されたスコアレポートのスキャンデータまたはダウンロードデータを提出すること。 PC 画面やスマートフォンのスクリーンショットは不可 ● 団体受験（IP テスト）やオンラインテストのスコアは不可。 ● 本学正規在学生以外は、出願締切日の 2 年以内（2024 年 11 月 28 日以降）に受験したテストのスコアに限る。	本学の正規在学生以外 （学外者、本学研究生/科目等履修生/特別聴講生） 英語を母語とする国の国籍を有する者以外
		● TOEIC スコアが SIT Portfolio に登録されているか確認すること。 スコアが登録されていない場合、申請は受理されない。 ● SIT Portfolio に登録された TOEIC の最高スコアが審査対象となる。	本学正規在学生
		● 英語による授業・研究指導等により高等教育機関等で学位取得した(する）ことが証明できる書類（教授言語を示す書類等）の提出をもって、英語テストのスコアレポートに代える。	英語による授業・研究指導等により高等教育機関等で学位取得した(する）者
	⑧パスポートコピーおよび在留カード	● パスポート：顔写真が印刷されたページのスキャンデータ ● 在留カード：両面のスキャンデータを提出すること。(所有者のみ)	日本国籍または特別永住者以外
	⑨診断書又は障害者手帳のコピー	● 診断書：医療機関発行のスキャンを提出。 ● 障害者手帳：自治体発行のスキャンを提出。カード型は両面、紙型は顔写真ページを提出。	該当者
	⑩日本語能力試験の成績証明書または日本留学試験	● 日本語能力試験 N2 以上、もしくは日本留学試験の「日本語」の合計点数が 200 点以上であることを確認の上、提出すること。 ● 公式に発行された書類を提出すること。PC 画面のスクリーン	日本国籍以外の者のうち、芝浦工業大学正規在

TAO ﾒﾆｭｰ	提出書類	詳細	対象
	「日本語」の成績確認書	ショット等は不可。 ● 出願締切日の 2 年以内（2024 年 11 月 28 日以降）に受験したテストのスコアに限る。	学生以外
		下記の 2 点の書類をもって日本語能力試験の書類に代えることとする。 (1) 日本語による授業・研究指導等により高等教育機関等で学位取得した(する)ことを証明する書類 （例：指導教員からのレター（書式任意）） (2) 修了した（する）教育機関の学修の手引きやカリキュラムガイドのデータファイル	日本語による授業・研究指導等により高等教育機関等で学位取得した(する)者
⑪ 受入内諾書		● 希望教員の区分（「指導教員」「担当教員」「研究協力教員」）を web の募集要項ページより教員リストを確認すること。 ●  をクリックし、教員のメールアドレスを選択して  をクリックする。 → TAO から教員へ自動メールが送信される → 教員が TAO で承認する ● 希望教員が「担当教員」または「研究協力教員」の場合は、ペアとなっている「指導教員」にも依頼を送信すること（計 2 名）。“8. 教育研究分野および教員一覧”を参照すること。	全員
⑫推薦状		● 推薦者のメールアドレスを TAO に入力し、作成依頼を送信すること。 ● 推薦者は出身大学の指導教員や、勤務先の上長など、出願者のことを熟知する者とすること。	本学の正規在学生以外 （学外者、本学研究生/科目等履修生/特別聴講生）
⑬入学検定料（￥35,000）		● 決済手段はクレジットカード又はコンビニエンスストア決済。 ● 納入に係る手数料は、納入者が負担すること。	全員

提出書類	詳細	対象
⑭ Verification Report of Higher Education Degree Certificate ⑮ Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript	**中国高等教育学生信息网（CHSI）関連 提出書類** 中国の高等教育機関において学位を取得した方および学位取得予定の方は、TAO での書類提出に加え、出願書類提出期限までに下記の**英語版認証書**の電子データをご提出ください。 ● 出願締切日までに、CHSI から本学宛に電子認証メールを直接送信するよう申請してください。志願者経由の提出は受け付けません。送付先：daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp ● 証明書の発行には 1 カ月以上かかる場合があります。出願期間前に本学に届いた証明書も受け付けますので、早めの申請をお願いします。これらの証明書は、同じ年度に実施される入試で有効です。	中国高等教育機関 卒業者
⑭ Verification Report of Student Record ⑮ Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript		中国高等教育機関 卒業見込み者
⑯日本語教育機関等の出席率証明書	● 在籍している／していた「日本語教育機関等」が発行する証明書を提出すること。 ● 日本国内の日本語教育機関等に在籍する志願者については、前籍校での出席率が合理的な理由なく低い場合、入学後の在留期間更新が許可されない可能性が高いため、適切な受入れ及び在籍管理の観点から、出席率を証明する書類の提出を求めています。合理的な理由が無い場合は出席率 8 割以上を目安とすることが示されています。	「日本語教育機関等」に在籍している者または本学大学院に入学する直近の在籍が「日本語教育機関等」の者
⑰在留資格認定証明書交付申請書（申請希望者のみ） ⑱留学経費支弁計画書 ⑲預金残高証明書	● ⑰申請希望者のみ、法務省所定様式（【留学】）をダウンロードし、提出してください。 ● ⑱ 修士課程 所定様式を使用すること。 記入における注意事項 1. 課程・研究科・専攻等を間違いなく記入してください。 2. 本学に留学する際に必要な学費・生活費の支弁方法について記載してください。合計額が標準修業年限の学費・生活費を十分賄える額になるように、記入してください。 3. 署名欄は、必ず自筆で署名（経費支弁者が他にいる場合は該当者も同様）してください。 4. 学費については、本学 Web サイトの「入学金・学費」を参照してください。 5. 私費外国人留学生の生活費については、独立行政法人日本学生支援機構ウェブサイトの私費外国人留学生生活実態調査などを参考にしてください。 6. 本学進学の際にビザを取得または更新する際、入国管理局に在留中の経費支弁を証明する書類の提出が必要になります。証明ができない場合、ビザが発給されない可能性もありますので、経費支弁について十分計画したうえで、出願してください。 ● ⑲各国政府・中央銀行等において認められた銀行の口座の	在留資格「留学」を有する者または入学に際して同資格を取得する予定の者

	預金残高証明書を提出してください。 **出願者本人が経費を支弁する場合** **出願者名義口座の預金残高証明書のみを提出してください。** **出願者の親族等が経費を支弁する場合** **留学経費支弁書と経費支弁者名義口座の預金残高証明書を提出してください。出願者本人および経費支弁者が留学経費支弁計画書を作成してください。** **政府、財団等のフルスカラシップ学生に採用されている場合** **奨学金受給証明書（原本のスキャンデータ）を留学経費支弁計画書に結合してご提出ください。** 1. 日本語または英語で発行されていない預金残高証明書を提出する場合は翻訳文も提出してください。翻訳文の内容を証明する公証書の提出は不要です。 2. 本学における 1 年間の学費と生活費が十分に賄える金額*が必要です。 3. 金融機関（銀行・証券等）の取引報告書は、預金残高証明書として提出できません。 4. 留学経費支弁計画書の④欄に記載した奨学金等により、標準修業年限中に必要となる学費・生活費の全額を賄えることが確認できる場合は、**預金残高証明書の提出を免除**します。この場合、入試出願時に TAO 上で預金残高証明書に代えて、奨学金受給証明書（原本のスキャンデータ）を提出してください。 なお、本学博士（後期）課程「留学生給付奨学金」への申請を希望する場合は、預金残高証明書に代えて、受入教員が作成した「本学博士（後期）課程留学生給付奨学金の候補者として推薦する旨を記載した推薦書」の PDF データを TAO 上で提出してください。	

(8) 入学検定料

入学検定料ならびに納入に係る諸注意については以下のとおりです。

- 入学検定料は 35,000 円です。
- TAO の「受験料支払い」から、クレジットカード決済またはコンビニエンスストア決済でお支払いください。
- 学内の証明書発行機(パピルスメイト)による納入はできません。
- システムへの反映に時間を要することがあるため、出願締切日の 12:00 までに納入を済ませてください。
- 入学検定料納入には別途手数料がかかります。
- 一度納入された入学検定料は返還しません。ただし、本学が認める対象事由(1)～(3)に該当する場合は、請求により返還を受けることができます。「【大学院】受験辞退届・検定料返金申請フォーム」から期日までに申請してください。
- 他大学の入試日程との重複、疾病その他の受験者都合による受験辞退は、入学検定料の返還対象となりません。

＜対象事由＞

(1)入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合。

(2)入学検定料を納入し、出願書類を提出したが受理されなかった場合。

(3)入学検定料を誤って二重もしくは過剰に納入した場合。

試験について

(1) 受験番号

受験番号は、試験日 1 週間前までに TAO に表示します。

(2) 試験内容

専攻ごとの試験内容は下記のとおりです。システム理工学専攻及び建築学専攻は、志願する部門により試験内容が異なります。教員がどの部門に該当するかについては、「8. 教育研究分野及び教員一覧」にて確認してください。

■電気電子情報工学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、プレゼンテーション（15 分）と質疑応答（10 分）の計 25 分で行います。
準備物	プレゼンテーション資料を作成し、口述試験時に画面共有にて発表できるように準備しておくこと。
出題内容	プレゼンテーションは、下記の内容を説明すること。 （1）大学院進学を志望する理由：3 分程度 （2）卒業研究の内容：9 分程度 （3）進学後の研究計画：3 分程度 なお、卒業研究を実施していない場合は、進学後の研究実施能力を示すことができる内容とすること。また、研究計画には、先行研究に関する文献や論文などの調査結果を含むこと。
その他	なし

■材料工学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、プレゼンテーション（5 分）と質疑応答（10 分）の計 15 分で行います。
準備物	プレゼンテーションでは、「志望動機」「卒業研究の内容」「進学後の研究計画」の 3 点について説明すること。パワーポイント等によるプレゼンテーションを希望する場合は、準備をしておくこと。
出題内容	上記のプレゼンテーションに対する質疑を行う。
その他	なし

■応用化学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、パワーポイントを用いる口頭発表（5 分）と質疑応答（15 分）の計 20 分で行ないます。
準備物	卒論研究に関する背景、目的、意義、研究計画、実験（研究）経過（結果）を中心にパワーポイントを作成（枚数は自由，発表が 5 分以内に収まるように作成）する。
出題内容	卒論研究に関する背景、目的、意義、研究計画、実験（研究）経過（結果）を中心としたパワーポイントを作成し、5 分間の発表を行なう。研究の背景を中心とした基礎学力を問う質問，及び研究計画や志望動機に関する質疑応答 15 分。合計 20 分。
その他	なし

■機械工学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、プレゼンテーション(8 分)、口頭試問(12 分)の計 20 分で行います。
準備物	下記出題内容についてパワーポイントによるプレゼンテーションを作成し、口述試験時に画面共有にて発表できるように準備しておくこと。進学については，配属を希望する研究室の指導教員と事前に相談しておくことが望ましい。
出題内容	「志望動機」「卒業研究の内容」「進学後の研究計画」についてプレゼンテーション形式で説明すること。コミュニケーション能力・マネジメント能力及び工学倫理に関する意識も評価するので，プレゼンテーションにはこれらに関連する内容も含めること。口頭試問では，専門分野について研究基礎力・専門知識を問う質問をする場合があります。
その他	特になし

■システム理工学専攻

口述試験 実施形式	パワーポイント等によるプレゼンテーション（5 分）と質疑応答（10 分）の計 15 分で行う。
準備物	進学希望の研究室の教員から指示があった場合のみ準備する。
出題内容	【電子情報部門】【社会・環境部門】【生命科学部門】 プレゼンテーションは「志望動機」「現在取り組んでいる研究の内容」「進学後の研究計画」をテーマに実施し、質疑応答を含めて本人の大学院への適性を客観的に評価する。 【機械制御部門】 プレゼンテーションは「志望動機」「進学後の研究計画」をテーマとする。 パワーポイントに「大学院での週のスケジュール案」（何時から何時まで大学で研究する）も入れること。 【数理科学部門】 プレゼンテーションは「志望動機」「いままでに学修・研究してきた専門的な数理科学の内容」「進学後の研究計画」「修了後の展望」をテーマとする。質疑応答は、発表内容の理解度の確認を中心に行う。
その他	受験生もしくは希望する研究室の教員が海外にいる場合の口述試験は、できるだけ現地との時差を考慮した時間帯に行う。

■社会基盤学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、プレゼンテーション（10 分）と質疑応答（10 分）の計 20 分で行います。
準備物	プレゼンテーションは、パワーポイントを使用して実施します。
出題内容	プレゼンテーションでは、卒業論文の研究計画と進捗状況及び修士論文の研究計画についての説明を行ってください。
その他	なし

■建築学専攻

口述試験 実施形式	建築学専攻では、7部門を下記の6つの入試区分に分けて、口述試験をオンラインにより実施します。各入試区分の実施形式は次の通りです。 【1.建築計画部門、建築史部門】 口述試験は、プレゼンテーション（7分）と質疑応答（13分）の計20分で行います。 【2.建築設計部門】 口述試験は、プレゼンテーション（5分）と質疑応答（15分）の計20分で行います。 【3.環境工学部門】 口述試験は、プレゼンテーション（10分）と質疑応答（10分）の計20分で行います。 【4.建築構造部門】 口述試験は、プレゼンテーション（5分）と質疑応答（15分）の計20分で行います。 【5.生産工学部門】 口述試験は、プレゼンテーション（8分）と質疑応答（12分）の計20分で行います。 【6.都市計画部門】 口述試験は、プレゼンテーション（5分）と質疑応答（15分）の計20分で行います。
準備物	【1.建築計画部門、建築史部門】自身のこれまでの制作物や研究をまとめた説明資料1部をPDF(10MB以下)の形式にして、指導を希望する教員へ事前に提出してください。提出期日は指導を希望する教員の指示に従ってください。提出するPDFのファイル名は、「説明資料（建築計画部門、建築史部門）受験番号氏名」としてください。 【2.建築設計部門】指導を希望する教員と事前面談する際、本大学院指定の志望理由書及び研究計画書に記載したものとポートフォリオ①を対面面談に持参する、もしくはインターネット・オンラインでの面談時は画面でお示しください。口述試験ではポートフォリオ②をインターネット・オンラインの画面でお示しください。ポートフォリオ①（PDF10MB以内）事前面談用。書式自由（2作品以上掲載のこと）。ポートフォリオ②（PDF10MB以内）口述試験用。A3片面10枚以内（2作品以上掲載のこと）。 【3.環境工学部門】口述試験はパワーポイントを用いてオンラインで行います。卒業研究概要資料（書式は自由）及びプレゼンテーション用データを希望指導教員へ事前に提出してください。提出期日は指導教員の指示に従ってください。 【4.建築構造部門】口述試験はパワーポイントを用いてオンラインで行います。口述試験当日までにプレゼンテーション用データを用意してください。具体的な実施方法は後日指示します。 【5.生産工学部門】事前面談の際に持参する書類については、教員から指示します。口述試験時のプレゼンテーションは、パワーポイントを使用して実施します。口述試験当日までにプレゼンテーション用データを用意してください。 【6.都市計画部門】口述試験のプレゼンテーション用資料をパワーポイント等を使用して作成し、当該資料のデータファイルを口述試験前日の昼12時までに、電子メールもしくはオンラインストレージ等を用いて、指導を希望する教員へ送付してください。また受験者は、口述試験開始時刻までに自分のパソコン上でプレゼンテーション用資料のファイルを開いて準備してください。
出題内容	口述試験では、試問、プレゼンテーション及び質疑応答をもとに、研究基礎力、専門能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、マネジメント能力を評価します。 【1.建築計画部門、建築史部門】 口述試験では志望理由書、研究計画書、制作物、研究等の概要を説明いただき、それらに対する質疑応答を行います。 【2.建築設計部門】 プレゼンテーションは、志望理由書、研究計画書、ポートフォリオ②に関して行い、それに対する質疑応答を行います。

	【3.環境工学部門】 志望理由、卒業研究、修士研究計画に関してプレゼンテーションを実施します。その後、特に卒業研究の成果や修士研究の計画内容について質疑応答を行います。加えて、環境工学分野における一般常識に関する質疑応答を行います。 【4.建築構造部門】 プレゼンテーションでは、志望理由、修士論文での研究計画、卒業研究について説明してください。 上記内容及び、建築構造分野における一般常識に関する質疑応答を行います。 【5.生産工学部門】 プレゼンテーションでは、以下の内容について説明してください。 ・卒業研究の研究計画：研究の背景・目的、研究の手法、研究成果の見通しと進捗状況 ・修士研究の研究計画：卒業研究からの発展・違い（卒業研究と異なる場合は研究の概要） 卒業研究及び修士研究の研究計画及び関連する内容について質疑応答を行います。 【6.都市計画部門】 プレゼンテーションでは、志望理由、卒業論文（又は卒業設計）の内容、及び修士論文の研究計画について資料をパワーポイント等で画面に表示して説明してください。上記内容及び、都市計画分野における基礎知識を問う質疑応答を行います。
その他	＜学内進学者向け注意事項＞ 志願者は出願前に、指導を希望する教員にメールでアポイントメントを取り、受験・研究内容等の相談（事前面談）をして、当該教員から出願に対する承認をもらう必要があります。入試区分によって、事前面談時、口述試験時に持参するものが異なりますので、十分に注意してください。 【1.建築計画部門、建築史部門】指導を希望する教員との事前面談を、出願受付期間が終了する 15 日前までに済ませてください。事前面談に持参する書類については、当該教員から指示します。 【2.建築設計部門】第 1 希望の教員との事前面談を、出願受付期間が終了する 15 日前までに、対面もしくはインターネット・オンラインで行ってください。第 1 希望の教員との事前面談を、出願受付期間が終了する 15 日前までに完了しないと、当該教員から出願に対する承認をもらえない場合があります。願書には、指導を希望する教員を 1 名だけ記入してください。口述試験で示すポートフォリオ②は、事前面談で受けた質疑や指摘を反映し、ポートフォリオ①の内容に修正を加えたものとしてください。 【3.環境工学部門】指導を希望する第 1 及び第 2 希望（第 2 希望がある場合のみ）の教員と事前面談を行う際、本大学院指定様式の志望理由書と研究計画書、及び卒業研究概要資料を準備してください。 【4.建築構造部門】指導を希望する教員との事前面談に持参する書類については、当該教員から指示します。 【5.生産工学部門】指導を希望する教員との事前面談に持参する書類については、当該教員から指示します。 【6.都市計画部門】指導を希望する第 1 及び第 2 希望（第 2 希望がある場合のみ）の教員との事前面談を、出願受付期間が終了する 15 日前までに、対面又はオンラインで行ってください。事前面談を出願受付期間が終了する 15 日前までに完了しないと、当該教員から出願に対する承認をもらえない場合があります。事前面談の際に準備しておくべき書類については、指導を希望する教員から指示します。

(3) 合否発表

合否発表方法ならびに諸注意については以下のとおりです。

- 合否発表は 2027 年 2 月 10 日（水）13：00 に TAO の個人ページにて行います。
- 電話やメール等による合否の問合せには一切応じられません。
- 選考に合格した者については、理工学研究科委員会の議を経て、学長が入学を許可します。

3. 入学手続について

(1) 入学手続金の納入

合格者に対して、オンライン出願システム（TAO）を通じて入学手続の詳細を案内します。郵送による書類送付は行いませんので注意してください。

入学手続金の納入ならびに諸注意については以下のとおりです。

入学手続金	本学卒業生：602,500 円 本学卒業生以外：862,500 円
納入期日	2027 年 2 月 26 日（金）
納入先	みずほ銀行　浜松町支店　普通　3271331 ガク）シバウラコウギョウダイガクダイガクイン　ニュウガクキングチ 学）芝浦工業大学大学院 入学金口

※　入学手続金は入学初年度の半期の学費に充当します。

※　期日を過ぎてからの納入は一切受け付けません。

※　振込名義人名は「受験番号」「志願者カナ氏名」の順に入力してください。（例：006001 シバウラリコ）

※　金融機関窓口から振り込む場合は、TAO から送付される入学手続金納入先口座情報を元に、金融機関指定の振込依頼書に転記の上納入をしてください。なお、振込間違いによるトラブルに関しては、本学は一切責任を負いかねます。

※　振込手数料は、本人負担となります。

※　海外送金で納入を希望する場合は、海外送金用の Flywire をご利用ください。詳しくはオンライン出願システム（TAO）を通じて案内される詳細をご参照ください。

※　本学において定める入学手続き金を納入した者に対して、入学許可証を発行します。

(2) 入学手続情報の入力

大学院入学にあたっては、入学手続の際に保証人と学費納入者等の情報を入力する必要があります。入学手続きの前に保証人や学費納入者の同意を取るようにしておいてください。

(3) 今後の入学手続予定

今後の入学手続に関する案内等の通知予定は以下のとおりです。

合否発表後	TAO を通じて入学手続金の納入先口座情報・納入締切日等を通知予定
2027 年 2 月下旬	入学手続金納入済の者に対し、TAO を通じて入学手続時に必要な提出書類、学籍関連情報の登録案内、学生証氏名確認、入学手続日（学生証交付日）等の情報を通知予定
2027 年 3 月中旬	入学手続書類提出（誓約書等）、学生証交付、各種ガイダンス情報等を通知予定

4. 学費等

（2026 年度入学者参考／単位：円）

費目	全専攻					
	一年次			二年次		
	入学時 入学手続金	秋学期	計	春学期	秋学期	計
入学金	(260,000)	—	(260,000)	—	—	—
授業料	510,500	510,500	1,021,000	560,500	560,500	1,121,000
維持料	92,000	92,000	184,000	92,000	92,000	184,000
計	602,500 (862,500)	602,500	1,205,000 (1,465,000)	652,500	652,500	1,305,000

※　上記「入学時」に記載されている金額を、入学に先立って入学手続き金としてお振り込みいただきます。

※　本学卒業生の入学金は、免除されます。（　）内は本学卒業生以外の方にお支払いいただく金額です。

【後援会費】

（単位：円）

費目	一年次 春学期	二年次 秋学期
入会金	(10,000)	—
会費	15,000	15,000
計	15,000 (25,000)	15,000

① 入学者のご父母等は、芝浦工業大学後援会の正会員として学生の入学と同時に入会していただきます。

② 入会金及び会費（2 年間分 30,000 円）の納入時期は、左の表のとおりです。

③ 本学卒業生で、学部入学時に正会員となっていた場合、入会金は免除されます。

※（）内は本学卒業生以外の者にかかる費用です。

【入学にあたっての案内事項】

(1) ノート PC の必携化

本学では、授業や研究活動、各種手続等において PC を活用します。そのため、入学時には PC とそれにあわせて自宅でのインターネット接続環境も各自で準備をしてください。

(2) 寄付金

入学手続完了者には、入学後に寄付（任意）をお願いすることがあります。

5. 入学辞退

2027 年 3 月末日までに入学辞退を申し出た者については、願い出により入学金を除いた納入金を返還します。手続は、本学指定の入学辞退届出を提出することで完了となります。入学手続金を期日までに納入しなかった場合も、必ず入学辞退届を提出してください。

入学辞退届出：　入学辞退届出フォーム

本学大学院の学則上、入学年度の 1 年次前期は休学することはできません。そのため、入学直後に学業に従事できない事情がある場合は、必ず入学辞退の手続を上記期日までに行ってください。

6. 奨学金

(1) グローバル理工系人材育成大学院給付奨学金（給付） ※本学学部学生・卒業生のみ対象

詳細はグローバル理工系人材育成大学院給付奨学金募集要項を参照してください。

https://www.shibaura-it.ac.jp/examinee/graduate/tuition.html

(2) 日本学生支援機構貸与奨学金（無利子／有利子）※留学生対象外/日本語対応のみ/在留資格によって申請可

詳細は以下をご確認ください。

大学院に在学中の方 | JASSO

【学内募集時期（予定）】2026 年 9 月頃（別途 TAO メッセージと HP 上で公開予定です）

【奨学金採否決定時期】2026 年 12 月下旬頃

【奨学金振込開始時期】2027 年 4 月～5 月予定

（大学院進学後に申し込みを行う、在学採用制度もございます。在学採用は入学手続き時にご案内します。）

7. 教育研究分野及び教員一覧

- 教員リストで希望教員が「指導教員」「担当教員」「研究協力教員」のどの区分かを確認してください。
- 区分によって受入内諾可能件数が異なるため、リストを参照して TAO で内諾を依頼してください。

＜電気電子情報工学専攻＞

部門	研究指導	指導教員	担当教員	研究協力教員
材料・デバイス	機能材料工学研究	山口　正樹		
	光デバイス工学研究	横井　秀樹		
	半導体エレクトロニクス研究	石川　博康		
	超構造量子物質エレクトロニクス研	中野　匡規		
回路　・　制御	電子回路工学研究	小池　義和		
		佐々木　昌浩		
		前田　慶博		
		プレーマチャンドラ　チン		
電力・エネルギー	エネルギー機器制御工学研究	相曽　浩平	齋藤　真	
	電力システム工学研究	藤田　吾郎		
		小岩　健太		
	エネルギー物性研究	西川　宏之	ニテイボン　ブッタラクサ	
	宇宙電気推進研究	川嶋　嶺		
	動的機能デバイス研究	重宗　宏毅		

希望する先生	受入内諾をもらう教員の組み合わせ
指導教員	指導教員のみ（受入れ内諾書 6 のみ）
担当教員	指導教員と担当教員（受入れ内諾書 6 と 7 ）
研究協力教員	指導教員と研究協力教員（受入れ内諾書 6 と 8 ）

TAO Menu

依頼書類

- 6 受入内諾書（指導教員）*
- 7 受入内諾書（担当教員）
- 8 受入内諾書（研究協力教員）

8. 出願資格審査（該当者のみ）

本学大学院では、科学技術の進展や社会経済の変化に対応し、研究者及び高度専門職業人の養成を果たすため、大学を卒業していない者であっても研究能力を有する者については、個々人の能力に着目して本大学院への道を開いています。ただし、在留資格「留学」を有する者または入学に際して同資格を取得する予定の者は、本審査の対象外です。

(1) 出願資格審査が必要な場合

「２.（２）出願資格」にある⑨、⑩の資格によって出願する場合

(2) 出願資格審査の申請方法

■提出書類

提出書類	備考
①出願資格審査申請書	本学所定様式 （募集要項掲載ページより DL）
②出願資格審査個人調書	本学所定様式 （募集要項掲載ページより DL）
③最終出身校の卒業証明書又は、在籍証明書（スキャン）	卒業証明書と成績証明書が複合されているものが望ましい。
④最終出身校の成績証明書（スキャン）	
⑤研究計画書	本学所定様式（募集要項掲載ページより DL）
⑥業績要約書、又はこれに代わるもの（卒業研究概要等）	様式任意
⑦「上記⑥」を裏付ける資料・論文など（コピー可）	様式任意

※　上記 7 点以外に本学が必要とする書類がある場合は、個別に連絡します。

※　出願資格審査の申請では、オンライン出願システム（TAO）は使用しません。

■提出期間

提出期日と時間	提出方法
2026 年 11 月 18 日（水）16：00（厳守）	①～⑦をすべてスキャンし大学院課へメールにて提出すること daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp

※　メール件名に「2027 年修士課程二次入試 出願資格審査」と記載してください。書類は全て PDF にして ZIP ファイルでまとめてください。

※　⑦が冊子や本のためにスキャンできない場合は、その旨を提出時のメールに明記し、提出期日必着で別送してください。

(3) 出願資格審査日

出願資格審査日	試験会場・時間	審査結果の発表
2026 年 12 月 18 日（金）	オンラインで実施 （詳細は後日通知）	2027 年 1 月 14 日（木）

(4) 審査料

出願資格の審査料は無料です。

(5) 審査方法

口頭試問（面接）、~~研究計画書、~~業績要約書等に基づき審査します。

9.　在留資格「留学」の取得（日本国籍以外の者のみ該当））

本学への入学を許可された日本国籍以外の学生は、在留資格「留学」を申請することができます。ただし「短期滞在」の在留で大学に在籍することはできませんので、注意してください。以下をよく読み、いずれかに該当する者は在留期間更新や在留資格変更、在留資格認定証明書代理申請など必要な手続を行ってください。

現在の状況	必要な手続
（ア）「留学」の在留資格を有している	必要に応じて在留期間更新許可申請を行ってください。この手続は、在留期間満了日の 3 ヶ月前から行うことができます。
（イ）「短期滞在」の在留資格を有している	原則として、一度国外に出て「留学」の在留資格を申請してください。詳細は、「（エ）在留資格を有していない」を参照してください。
（ウ）「留学」「短期滞在」以外の在留資格を有している ※「定住者」「家族滞在」など	特に手続する必要はありませんが、「留学」の在留資格へ変更を希望する場合は、「在留資格変更申請」を行ってください。
（エ）在留資格を有していない （在留資格の新規取得）	在留資格を申請するには、まず日本の入国管理局に「在留資格認定証明書(CoE)」を申請する必要があります。本学では、これを本人に代わって代理申請を行います。 代理申請後、CoE が入国管理局から本学へ交付次第、申請者に郵送します。 CoE を受け取った後は、CoE の有効期間内に国籍を有する国又は居住国の日本大使館・領事館で「留学」ビザ（査証）を申請し、在留資格を取得してください。

「在留期間更新許可申請」「在留資格変更申請」「在留資格の新規取得」には、本学の押印のある書類が必要です。在留資格に関する手続に必要な本学発行書類は、入学者選抜に合格し、所定の入学手続金を納入した者に対して発行します。
必要な書類の発行には数日かかります。そのため、下記の案内に従い、事前に連絡をしてください。

【在留手続に必要な書類の発行申請について】

- 合格発表後、案内に従って入学手続金を納入してください。入金確認後、大学院課が在留手続に必要な書類を発行します。
- 大学院課<daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp>に、下記の内容でメールを送信してください。
  - 受験番号、氏名
  - 必要な手続名称（在留期間更新許可申請 or 在留資格変更申請 or 在留資格の新規取得）
  - 在留カードのスキャン画像の添付（在留期間更新許可申請/在留資格変更申請の場合のみ）
- 受け渡しが可能になる日時と持参物等をメールで指示しますので、その指示に従って来校してください。
- 在留手続には日数がかかる場合があります。各人が責任を持って自身の在留期間を管理し、必要な手続を取るように努めてください。

【結核スクリーニングについて（フィリピン、ネパール、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、中国の国籍所有者）】

日本政府は 2025 年度より、日本に中長期の在留を目的として渡航する方を対象に、入国前に結核を発病していないことを確認する「入国前結核スクリーニング」を開始しました。これに伴い、在留資格認定証明書（CoE）を申請する際には、「結核非発病証明書」の提出が必要です。フィリピン、ベトナム、インドネシア、ネパール、ミャンマー、中国の国籍を有する志願者は、最新の情報をご確認の上、入国前に検査を受けてください。

入国前結核スクリーニング 特設サイト　|厚生労働省
入国前結核スクリーニングについて｜芝浦工業大学

10. 問い合わせ先

入試に関する質問がある場合は、下記までメールにて問い合わせてください。件名に「修士 二次入試 ＋ 氏名」と記載してください。

芝浦工業大学大学院課　daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp